

西区サポセン通信

『西区医療介護サポートセンターについて』

神戸市西区医師会会長 荒木邦公

地域包括ケアシステムの中で特に医療と介護の連携が重要になっています。この度この目的のために西区医療介護サポートセンターが開設されました。

西区では平成29年4月に立ち上がり、7月から本格稼働を行っています。神戸市民が住み慣れた地域で安心して生活を送れるように医療と介護の連携がスムーズに、シームレスにつながるように、神戸市、神戸在宅医療・介護推進財団、神戸市医師会の三者が一体となり在宅医療介護連携支援センターが立ち上がりました。

神戸市では「医療介護サポートセンター」の名称でよばれています。神戸市内では9区に設置されていますが、北区に2か所、他の区は1か所となり計10か所のサポートセンターが設置され、介護支援専門員の資格を持った看護師・社会福祉士等の専門職がコーディネーターとして各2名ずつ配置されています。

コーディネーターは、地域の医療介護の情報を随時確認し情報を更新すると共に、西区病院連携室と密に連絡し合い、開業医や訪問看護ステーション、介護支援専門員などからの案件である医療機関や主治医の紹介依頼などに対応しています。また医師会、歯科医師会、薬剤師会、西区保健センター、あんしんすこやかセンターや各専門職と連携を密に行い、医療・介護・福祉関係者からの疑問点や病院からの退院調整に対応してアドバイスを行っています。

サポートセンターでは日々刻々と変わる医療介護の内容に対して研修を行い、皆様の疑問に対応できるように努力しています。

つまり、医療介護サポートセンターは ①在宅医療に関する相談窓口 ②地域の在宅医療・介護資源の把握 ③多職種連携の推進(多職種連携会議の開催、医療・介護関係者への研修) ④地域住民への普及啓発 ⑤退院調整への支援を行っています。

西区の人口は242,116人(平成30年10月1日)、1号被保険者数/区別人口は24.6%(平成29年9月末)となっております。人口は9区で最も多く、1号被保険者の割合は東灘区、中央区に次で3番目となっております。現在では神戸市9区の中では高齢化率は低いほうですが、数年のうちに高齢化が進み長田区、須磨区と同じく30%台となる見込みです。要介護の人口は増加の一途で、施設、在宅での医療需要の必要性が高まっています。西区における医療介護に関する特に在宅における連携、医療面介護面に関しての相談などは急増することが予想されます。

医療介護サポートセンターでは地域が抱える在宅医療に関する問題に際し、医療介護関係者が“顔の見える関係”“相談し合える関係”作りができるよう様々な研修会を開催し、相談業務を通していろいろな疑問点や相談に対応するべく努力していきます。市民からの相談は、これまで通りあんしんすこやかセンターを通じて対応することになります。医療介護の連携に携わる多職種の皆様にサポートセンターを利用して頂き、西区において医療介護の連携がよりスムーズに行われますようお願いいたします。



西区医師会会長 荒木邦公



西区医師会副会長 石原健造

切れ目のない在宅医療と介護サービスを提供するには、まずサービス提供者同士が顔の見える関係を作ることが大切です。

そこでサポートセンターでは、医療・介護制度を知り、それぞれ専門職の活動内容を知り、お互いの理解を深めるためいろいろな研修を企画・運営しています。

◎『多職種によるグループワークを活用した研修』

西区の医療・介護関係者がワールド・カフェ形式で、多職種連携の実際を修得します。これまで、“看取り”、“在宅医療で困ったこと”、“病院との連携”などをテーマに4回開催しました。参加者からは「各職種からの問題点や困っていることを聞いてよかった」「各職種の役割が理解されておらず、十分活用されていないことが浮き彫りになった」などの意見・感想がありました。12月13日には“精神疾患”をテーマに研修を予定しています。

◎『医療・介護関係者の研修』

医療・介護のことで、よく耳にするけど詳しいことはよく分からないテーマについて、その専門職から講義形式で話を聞くものです。これまで、“訪問看護師について”、“施設について”、“訪問薬剤業務について”講義を受け、そのあとグループワークを行いました。

「訪看をどんどん活用させていただき利用者さんの在宅生活を長く継続できるようにしたい」「施設について知らなかったことが多く勉強になった」「費用面は思っていた以上に複雑でした」「薬剤師さんが“薬”だけでなく“人”として対応していることを知った」などの反応がありました。

◎『多職種連携が必要な事例検討による研修』

毎回提示された事例を題材にして、その人が住み慣れた地域に住み続けるには医療・介護サービスがどの様にかかわっていけばいいかを話し合い、グループごとにそれぞれがこれと思う対応策を発表し合います。これら種々の研修会に参加したり、時には“飲みにケーション”の場を持つことで、ツーカーの関係が生まれ、利用者へのアプローチも円滑に行くようになっていきます。より一層多くの関係者(初参加大歓迎、リピーターも)の参加をお待ちしています。皆さん、顔見知りになりましょう!!

ほかに『地域の医療・介護関係者による同行訪問研修』の参加者も募集中です。

そしてもう一つの活動は市民向けの企画です。

◎市民啓発

今年2月に西区市民フォーラムを開催し、在宅診療で大変活躍されている神戸市灘区の関本雅子先生に「在宅での看取りについて」の講演をお願いし、市民の皆さん246名の参加をいただきました。今年度からは住民の皆さんにより身近にと、9か所のあんしんすこやかセンター地区ごとに順番に「在宅医療ってなに？」を開催していきます。すでに8月には学園都市あんすこやかセンター地区、11月に伊川谷あんしんすこやかセンター地区で、好評を得て終了しています。今後残りの地区で開催予定しており、住民の皆さんと在宅医療について一緒に考え、住民の皆さんが安心してそこに住み続けることができる一助になればと願っています。

多職種連携が必要な事例検討による研修 開催報告

第3回多職種連携事例検討会～事例を通して顔の見える関係づくり～

日時：平成30年7月12日(木) 13:30～15:30

場所：キャンパススクウェア リバティホール

事例提供：事例提供：訪問看護師

事例：キーパーソンがガン末期と診断されて

内容：事例説明後15テーブルでテーマに沿って
グループワーク

アンケートより：「医療職と福祉職各々の視点の違いがわかった」「自分自身が多職種の事がわかっていない」
「グループワークで医師と話せたのが力となりました」



多職種によるグループワークを活用した研修 開催報告

第4回 ワールド・カフェ

日時：平成30年9月6日(木) 14:00～15:45

場所：西区公会堂(西区役所4F)

テーマ：病院との連携について

内容：3回グループ検討・全体発表

※各テーブルに西区内病院地域連携室スタッフがホストに入る。

アンケートより：「地域連携室スタッフ・他職種より様々な意見・見解を聞くことで、異なる視点・考え方を
知る機会になった」「日頃疑問に思っている事が聞けてよかった」「相談できる関係性ができた」
「それぞれの立場、仕組みを少しでも理解できればと思いました」



医療・介護関係者研修 開催報告

第3回 多職種勉強会

日時：平成30年9月15日(土) 14:30～15:30

場所：総合リハビリテーションセンター管理棟3F研修室

テーマ：「訪問薬剤業務について」～訪問薬剤師のできる事～

講師：池上薬局 管理薬剤師 松岡 一典 氏

内容：講義・グループワーク・全体発表

アンケートより：「薬剤師の専門性についてとてもわかりやすく、また身近な課題についてもQ&Aして頂き、
とても勉強になりました」「訪問薬剤師さんの業務が学べたので今後連携が取りやすくなる
と思います」「地区の他職種の方を知る事ができ、今後連携が必要だと思いました」
「他職種の方々の意見を聞くことが出来、非常に勉強になりました」



市民啓発 開催報告

平成30年度第1回市民啓発「在宅医療ってなに？」



日時：平成30年8月30日(木) 14:00～15:30

場所：リバティホール

座長：山西内科 院長 山西淳司 氏

講師：向原クリニック 院長 向原進一 氏

たまつ訪問看護ステーション 管理者 長田敏子 氏

内容：講義・質疑応答

アンケートより：在宅医療の最近の動向が良く理解できた。

在宅医療には家族の協力が必要だと思った。

(学園都市あんしんすこやかセンター圏域)

日時：平成30年11月8日(木) 14:00～15:30

場所：コープデイズ神戸西 集会室(2階)

座長：石原内科・リハビリテーション科 院長 石原健造 氏

講師：かなさと内科医院 院長 金里充哲 氏

総合リハ訪問看護ステーション 管理者 谷富喜代 氏

内容：講義・質疑応答

アンケートより：住民向けでわかりやすかったです。

本日の様な会が度々あることを望みます。

平成30年度第2回市民啓発「在宅医療ってなに？」



(伊川谷あんしんすこやかセンター圏域)

これからの研修会のご案内

多職種グループワークを活用した研修

第5回ワールド・カフェ

「ひきこもり」「受診ができない」「主治医がない」「精神科の訪問看護の利用方法が分からない」等お困りの事はありませんか。この機会に、精神疾患の対応について一緒に話してみませんか。

西区精神科病院のPSWの方にご参加頂きます。

日時：平成30年12月13日(木) 14:00～15:30

場所：セリオホール

テーマ：精神疾患の対応について



多職種連携が必要な事例検討による研修

第4回多職種連携事例検討会

事例を通して「高齢者が望む場所での生活支援」について、支える多様な専門職の立場で何ができるかを検討。高齢者の生活支援のあり方をチーム支援・連携することを意識し、事例を通して話し合える関係づくりができればと思います。

日時：平成31年1月17日(木) 14:00～16:00

場所：セリオホール

事例提供：薬剤師



西区 医療・介護地域資源マップ

「地域資源マップ」のご活用について

平成30年4月に医療介護関係事業所(掲載箇所)へお届けしましたがご覧頂けましたでしょうか？まだの方は一度内容をご覧頂き、是非ご活用下さい。



編集後記

西区医療介護サポートセンター開設より1年強、ようやくVol.1発行となりました。サポートセンターが医療と介護の架け橋となるよう、いろいろな研修会を企画いたします。皆様ふるってご参加ください。

内田・溝端